



## 本会議で子育て支援を質問！



### 認可保育園と認可外保育園の負担差の解消を！

平成 29 年 5 月の調査では、保育所利用料の平均額は認可保育所で月額約 24000 円、認可外保育所は月額約 48000 円と 2 倍の開きがあります。認可外保育所の利用料は、設置者が自由に設定できることから、施設ごとに利用料の差が生じ、また、公費が出せない施設であるため、やむを得ない面があると考えています。保護者が安心して働き続けられるためには、保育料の負担は大きな問題です。できる限り多くの子どもが認可保育所を利用できるよう、認可外保育所に対し人員や設備の基準を満たすことによって公費の助成が可能となる認可保育所への移行を働きかけてまいります。(※補足説明：豊川市内は認可外 9 力所)



### 幼保一元化へ積極的な取り組みを！

認定こども園は、教育・保育を一体化する施設であり、保護者が働いている・いないに関わらず利用でき、保護者の就労状況が変化した場合でも、通いなれた園を継続して利用できるなどのメリットがあります。本県における認定こども園の数は、平成 27 年に 58 施設でしたが、平成 29 年 4 月には 123 施設と、2 年間で 2.1 倍に増えています。認定こども園の移行に必要な施設整備費や、移行事務に従事する事務職員の雇上げに必要な経費に助成し、引き続き認定こども園へ円滑に移行できるよう支援をしてまいります。(※補足説明：豊川市内は認定子ども園来年 4 月に 1 園、開園予定)



### 0~2歳児の家庭的保育事業の充実と保育の質の確保を！

保育者の居宅等に少人数の子どもを預かり、きめやかな保育を行う家庭的保育事業は、平成 29 年 4 月時点で 3 市に 28 か所開設されています(豊川市にはまだありません)。この保育者は、保育士資格を有するとともに、専門研修の受講が義務付けられるなど、高い専門性が求められているため、保育者の確保が難しく、なかなか普及していない状況にあります。保育施設の新設に比べますと、設置に時間や多額の経費を要しません。小規模な保育ニーズに応える事業であり理解を広げて参りたいと考えております。(※補足説明：豊川市内は家庭的保育事業 0 力所)



### 放課後児童クラブなど学校利用した子どもの居場所づくりを！

小学校の校内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を実施する一体型は 342 クラブあり、放課後児童クラブの全体の約 3 割が一体型で運営されています。一体型のクラブは、学校内に設置されているため、児童が校外に移動することなく放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来ますので、県・市町村の教育委員会と連携して、より一層、学校施設を活用することで、一体型クラブの設置拡大を図ってまいりたいと考えております。(※補足説明：豊川市内は学校内設置児童クラブ 24 力所)

↓連合愛知土肥会長と県議団のみなさんと。



りえのひとこと

今回は、私のライフワークであります子育て支援を中心に、質問致しました。子どもたち、そして子育てしている方々を、社会全体で支えられるよう、積極的に提案してまいります。今後とも皆様の声を大事にして、議会の場で取り上げていきたいと思いますので、お気づきの点などございましたら、お声がけください。



ご意見・ご感想などをお寄せください

●ホームページ—— <http://www.ootakerie.jp>

●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞 59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

愛知県議会議員

# おおたけりえ



県政レポート vol.011

〒442-0854 豊川市国府町流霞 59-2  
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

## 子ども・中小企業・防災を質問！

～本会議で登壇し、一般質問を致しました～

皆様、いかがお過ごでしょうか。先の議会では、本会議場での登壇の機会を頂き、この地域の皆様から頂いたお声をもとに、「子育て支援、中小企業支援、防災対策」を一般質問をさせて頂きました。個人では解決できない課題を、皆様と共に行政とともに解決していく、その橋渡しの役割をしっかりと果たしていきたいと思います。



【中小企業の人材確保対策】県内の 221,411 社のうち、220,767 社と、全体の 99.7% が中小企業であり、そのうち 83.0% が小規模企業です。県内企業の雇用者数約 279 万人のうち、中小企業の雇用者は、約 181 万人と、全体の 66.1% を占めており、13.1% (約 37 万人) が小規模企業の雇用者と、雇用の面でも大きなウエイトを占めています。その中小企業の多くの企業で、人材確保・人材育成が大きな課題になっています。その対策として、東三河地域の UIJ ターン（大都市圏の居住者が地方に移住する動き）を促進すること、中小企業それぞれのキラリと光る良さを発信する事業に力を入れることなど本会議で提案致しました。

県は答弁で、県外から人材を受け入れる取り組みを重要と位置づけ、「あいち UIJ ターン支援センター」を東京に常設拠点を設け、仕事と暮らしの情報発信や相談対応を行っている状況を紹介するとともに、県内でも先行して人口減少がはじまっている東三河の産業人材確保に向か、一層の連携を図ると答えました。中小企業の魅力をアピールする場を多く設けるとともに、「あいちブランド企業」の評価項目に「働き方」に関する指標を導入することに言及しました。





～愛知県政全体のトピックスをご報告します～

## 子ども食堂を広げるための支援調査費等の補正予算が成立しました！

**補正予算金額 一般会計 44億7599万3千円**

**補正後 一般会計合計 2兆5257億9655万9千円**

### ① 子ども食堂支援調査費

2734千円（新規予算）

子ども食堂の充実を図るため、子ども食堂の実態を調査研究します。愛知県内で実施されている子ども食堂の開催回数、参加人数等、食料支援のニーズ（種類、量、頻度）等を調査し、フードバンクによる食料支援を活用した子ども食堂の支援方法等を検討します。

### ③ 子どもの貧困シンポジウム開催

1129千円（新規予算）

子どもの貧困問題への理解を深めるため、「支援につなぐ」をテーマに、民生委員、教員、保育士、保健師等を対象に、支援を必要とする生活困窮世帯の早期発見・支援のためのシンポジウムを開催。



### ⑤ 「命のビザ」杉原氏展示拡充

64000千円（債務負担行為）

第2次世界大戦中に「命のビザ」を発給し、多くのユダヤ人難民を救った外交官、杉原氏の母校である県立瑞陵高校敷地内に、その人道的功績を学べる施設を整備中。関係者と調整を進めた結果、新たな資料の展示が可能となり、教育的観点から学べるよう展示を拡充します。完成時期：平成30年10月頃

### ② 子どもの学習支援ボランティア養成・人材バンク事業の支援（ボランティアセンター運営費補助）

5530千円（拡充）

子どもの学習支援実施団体にボランティアを斡旋するため、愛知県社会福祉協議会（ボランティアセンター）において、ボランティアの養成と、人材バンクの運営に対する事業を支援します。

### ④ 交通安全対策の強化

110,483千円

交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故防止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進します。また、道路標識や更新整備をすすめます。



### ⑥ 愛知環状鉄道のIC導入

77,000千円（新規予算）

愛知環状鉄道線（岡崎駅～高蔵寺駅間）に、JR東海が発行するICカード乗車券「TOICA」を導入します。「manaca」など全国相互利用可能な交通系ICカードも利用ができるように整備します。平成31年春利用開始予定。

ラグビーワールドカップ2019開催時には利用可能となるよう整備。



～豊川にまつわる愛知県政の状況をご報告します～

## 豪雨や高潮に対応する河川整備について 本会議にて実情を訴え、対策を要望しました。



平成21年の高潮で家屋浸水被害が発生した御津川下流は、水門の管理の適正化や河川改修が必要です。地元町内会からも幾度も要望が出ておりますが、問題の解決に至っていません。きちんと対策をすべきと考えます。



県としては、高潮時の浸水被害を軽減するため、水門閉鎖を短時間で確実に行うことが必要です。現在、県が管理する河川の高潮水門について、閉鎖に要している時間などを調査中であり、それを踏まえて、水門ごとに具体的な対策を検討します。



平成27年9月の豪雨で大きな浸水被害が発生した正岡～小坂井地区の151号線は、災害時の重要な第一次緊急輸送道路に指定されている、生活・産業両面にわたり重要な道路であり、冠水のため通行止めになると、物流や人の流れ、また小坂井高校の生徒の通学にも支障をきたします。この対策には、県管理の善光寺川

の改善が必要です。平成22年から地域から幾度と要望が出ており、前向きな対応を要望します。



善光寺川の対策について、被災直後に緊急的に河道内の藻の除去を行い、その後も定期的にパトロールし監視しています。さらに、狭窄部となっている約900メートルの区間にて、現在の河川敷の中で、護岸の構造を変えて流下能力を高める工事を行っています。引き続き、着実に整備を進めるとともに、適切な維持管理に努めてまいります。



（※豪雨時の151号線）



## 東三河の市町村議会議長とともに県に対して要望活動をいたしました。



↑東三河の市町村議会議長さん方と大村知事と愛知県公館にて撮影。

東三河全市町村議会議長協議会として、東三河の議長さん方が愛知県庁に来られ、東三河選出県議とともに要望を行いました。

- ①幹線道路・広域幹線道路の整備促進
  - ②一般国道151号一宮バイパスの工事延伸
  - ③林業振興対策の促進
  - ④過疎バス路線等維持の補助制度拡充
- など東三河の主要課題に関する9項目。